

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393200072
事業所名	せんねん村グループホームとみやま

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入し、近所のスーパーへは毎日買い出しに出かけている。地域包括主催の「すみれ会」には近所の子供から高齢者も集まるが、入居者も毎月参加している。最近会場である公民館が施設されており、困った地域包括職員に頼まれてホームで開催したこともある。町内・小学校区・市でそれぞれ防災訓練があり、ホームも参加している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	入居者・家族・市長寿課職員・地域包括職員・町内住民・管理者・職員をメンバーとし、主に金土曜日に年6回開催している。ホームの取組み、サービスの報告を行い、入居者の日常は、スライドで発表している。入居者も会議に参加すると、メンバーを意識してか、いつもより緊張して「バリッ」としている。避難訓練を会議後に行い、家族・地域包括職員にも好評であった。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市のお祭りにはせんねん村4グループホームで出店し、入居者が売り子さんを務めている。管理者は『地域包括ケアシステム』を支援する、介護・医療・福祉・行政が集まる会議に参加し、地域包括主催の地域ケア会議にも参加している。市の認知症サポーター養成講座には講師を派遣している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族向けのホーム便りは表紙だけ共通で、2枚目からは「○○さま通信」として、個々の入居者の日常の様子が、担当者により写真付きで報告されている。食事の希望があれば翌日の献立に「○○さんリクエスト」と書いて、献立に取り入れている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	○	○	○	○	○			